



宮城

ダイバーシティへの一歩

理事・技術開発委員長・みやび広和会長 阿部 直哉

(飛鳥東北株式会社)

最近の企業広告やメディア等でよく耳にする言葉、ダイバーシティ。

私は恥ずかしながら初めて聞いた時、お台場にあるあの施設を最初に思い浮かべてしまいました。今回はこの言葉の意味と働き方について考えてみたいと思います。

英語で「多様性」を意味するダイバーシティは人種、性別、進行、年齢などにこだわらず多様な人材を生かし、多様な観点から仕事の生産性につなげようという取り組みです。この言葉の意味を考えた時に人は誰しも他の誰かと同じではなく自分という個性をもつて生まれてきます。育った環境、また歩んできた人生経験で得た知識などで人間性は形成されますが、生まれ持った性質は変わらない部分もあります。

日本の文化はみんなと一緒、みんなと同じが「良い」とする傾向が強いです。多様性とは真逆の教育を受けて育った私達にとっては多様性という言葉をすぐに受け入れることは難しい事と思っています。確かにルールに従い、リーダーの指示の下で一致団結して行動することはリーダーにとっても従事者にとっても楽です。でも、それは日本特有のタテ社会を生み、個々の個性が失われることに繋がっていると思

また、働き方も一緒ですべての人がみんな同じ生活をしているわけではなく、持病や障害をかかえて生活している人、介護や育児をしながら生活している人など人それぞれいろいろな事情を抱えながら仕事をしています。そして、それらを理由に働けない人もいます。実は身近にいる優秀な人材を見逃してしまっている可能性もあります。

すよね。

今後、優秀な人材を確保するには柔軟な働き方や個人単位で能力が発揮できる職場環境を整える必要があるのではないかと思います。

私達がこれから直面する労働人口減少に立ち向かうには働きやすい環境を整える事は必須の問題であり、相手を支えるのではなく会社や社会全体が変わっていかねばならない時代になったのだとひしひしと感じています。自分の価値観が当たり前だと言う認識は時代遅れなのかもしれません。新しいものに出会い、学び、成長する姿勢が大切なのだと思います。

ダイバーシティ(多様性)と言うと高い意識が必要な社会問題として身構えてしまいがちですが、まずは身近な人との関係において理解を深める事や自分との価値観の違いを知見することから始めてみようと私自身思っています。時間はかかるかもしれませんがコミュニケーションを通して自分にとって当たり前のことが相手にとって当たり前ではなく互いに違いを認め合える関係性を築いていけたら多様性への一歩に繋がると思います。そして、それが働くモチベーションに繋がっていきけるよう努力していきたいと思っています。



～先端新規ビジネスへ その開発思想は果てしなく～

東北藤光株式会社

www.t-tohkoh.co.jp

●各種看板資材取扱店●

〒983-0025
宮城県仙台市宮城野区福田町南1丁目2-46
TEL:022-254-0611
FAX:022-254-0608



MARUWA SHOKAI

スリーエムジャパン株式会社 特約加工販売店

株式会社 丸和商会

〒321-0921

栃木県宇都宮市瑞穂3-5-14

TEL:028-656-3611

東京・高崎・郡山・仙台・秋田・青森

http://www.maruwashokai.co.jp